

南仏事件情報（2018年3月分）

1 テロ事件

23日（金）午前10時頃、カルカソンヌで、モロッコ系仏国籍の被疑者が銃を発砲して乗用車の同乗者1名を殺害し、運転手を負傷させて乗用車を奪った後、同車両内からジョギング中の兵士に向かって発砲し、兵士2名を負傷させた。その後、同市東側近郊にあるトレブのスーパーマーケットに移動し、店内にいた客1名と店員1名を射殺し、女性1名を人質にとり、店内に立てこもった。その後、仏憲兵隊中佐が女性の身代わりとなり、女性は解放された。被疑者はISの戦士であると述べ、2015年11月のパリ同時多発テロ事件首謀者1名の釈放を求めたが、国家憲兵隊の急襲により殺害された。身代わりとなっていた中佐は病院に搬送されたが、被疑者から受けた傷により死亡した。

現地を訪れたコロン内務大臣は「ここは小さな閑散とした町だ。残念ながら、脅威はどこにでもある」と述べた。

2 凶悪事件（殺人、強盗事件等）

●2日（金）午後9時45分頃、マルセイユ（ブーシュ＝デュ＝ローヌ県、以下BdR県）ラ・ブスリヌ（14区）路上で、運転手2名が車の運転方法を巡ってトラブルになり、運転手1名が銃で相手の運転手（19歳）の腹部を1発撃って逃走した。撃たれた運転手の命に別状はない。

●3日（土）から4日（日）にかけて、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）プレリー・デ・フィトル公園で、若者3名（少年2名、少女1名、17歳～18歳）が若者8名から暴行を受け、財布や携帯電話を奪われ、少年1名が死亡した。若者8名は逃走したが、その後逮捕された。

●4日（日）午前5時30分頃、モンペリエ（エロー県）ミレネール＝グラモンで、銃撃事件が発生した。その数分後、負傷した男2名が車に乗って同地区にある消防署に現れ、消防により病院に搬送された。1名は撃たれて、別の1名は刃物で切られて負傷していたが、2名とも命に別状はない。

●4日（日）午前6時頃、ル・ポンテ（ヴォークリューズ県）にあるディスコ前の駐車場で、若者約20名による乱闘が発生し、男性（21歳）が刃物で10数カ所刺されてアヴィニヨンの病院に搬送された。男性の命に別状はない。

●5日（月）午後4時頃、ニース（アルプ＝マリタイム県）レピュブリック通りで、少年（14歳）が何者かに刃物で喉を切られて病院に搬送された。少年の命に別状はない。

●6日（火）午後5時30分頃、ラ・トゥルビ（アルプ＝マリタイム県）の高速道路料金所付近で、男3名が強盗容疑で憲兵隊に逮捕された。その後、同容疑

で約7名が逮捕された。逮捕容疑は、犯人約10名が、1月にテウル＝スール＝メール（アルプ＝マリティム県）のオーストリア人とロシア人の夫婦宅を襲い、貴重品等（時価合計約1千万ユーロ）を奪い取ったもの。

●7日（水）朝、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）で、若者4名が強盗容疑で警察に逮捕された。犯人らは今年1月中旬から2月中旬にかけて、同市レ・ザレーヌ路上で、被害者の足を刃物で切りつけ又はハンマーで叩いて、携帯電話又はキャッシュカード、ヘッドホン、現金等を奪った。被害者は合計17名。

●9日（金）午前9時30分頃、グルナード（オート＝ガロンヌ県）ラ・レピュブリック通りで、女性（94歳）が自宅の居間で死亡しているのを憲兵隊によって発見された。検視の結果、殺人事件と認定された。

●10日（土）、マルセイユ（BdR県）シクシオン通り（15区）付近のATMで、男性が現金を引き出していたところ、突然現れた男にキャッシュカードと暗証番号を奪い取られた。男は2日後に警察に逮捕されたが、既に同キャッシュカードで現金を引き出し、買い物をしていた。

●12日（月）午前6時45分頃、カルパントラ（ヴォークリューズ県）ポルト＝ドランジュ通り付近で、男性（34歳）が車両に乗って信号待ちをしていたところ、別の車両に乗って現れた男2名に銃で撃たれて軽傷を負った。男2名は車両で逃走した。犯行車両は同市セルで燃やされた状態で発見された。

●12日（月）、モンペリエ（エロー県）エタヴ通りで、酒に酔った男（25歳）が女性（84歳）の背後からハンドバッグを奪った容疑で逮捕された。男は未成年に対する性的暴行の罪で7年間服役し、昨年6月に出所していた。

●12日（月）午後7時頃、マルセイユ（BdR県）サン＝ジュスト通り（13区）で、若い女性が男に拳銃で脅され、携帯電話を奪われた。男は共犯者の運転する車両で逃走した。

●12日（月）夜、トゥーロン（ヴァール県）のシテで、若い男性1名が何者かに銃で撃たれて死亡し、他2名が負傷した。

●13日（火）正午頃、マルセイユ（BdR県）ピエール＝ドワーズ通り（10区）で、覆面をした男がホームセンター「GIFI」に押し入り、銃で店員を脅して少なくとも現金500ユーロを奪った。

●19日（月）午後7時頃、ニース（アルプ＝マリティム県）で、警察官が男2名（21歳と22歳）が乗車中の車に故意に撥ねられ、車から降りてきた男に奪われた警棒で数回殴られた。男2名は逮捕された。逮捕当時、男2名は麻薬を使用していた。

●20日（火）午前4時15分頃、マルセイユ（BdR県）クロワ＝ルージュ（13区）で、覆面をした男5名が一軒家に押し入り、美術品等を奪って逃走した。家の中にいた家人2名（77歳と51歳）に身体的な被害はなかった。家人によると、

犯人らは警察官の制服を着て、拳銃を所持していた。

●20日（火）午後3時30分頃、マルセイユ（BdR県）アルフォンス＝ドデ通り（13区）で、銃撃事件が発生した。男性（21歳）が同市パルク・コロ（13区）で車両に乗っていたところ、別の車両に追跡されてアルフォンス＝ドデ通りまで逃げたが、カラシニコフ銃や拳銃で大腿部や腰部を撃たれ、重傷を負った。目撃者によると、追跡していた車両には4名が乗車していた。現場付近で薬莢15発が発見された。男性には麻薬密売の前歴がある。

●22日（木）午前7時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ジョルジュ＝ピコ通りで、覆面をした男5名が民家を襲い、夫婦を銃で脅して、金庫内から宝石（時価合計約30万ユーロ）を奪った。夫婦に怪我はなかった。被害当時、夫婦の子供達は寝ていた。

●22日（木）午後7時頃、マルセイユ（BdR県）ラ・ブリカルド（15区）で、男性（26歳）が何者かに銃で4、5発撃たれて病院に搬送され、一命を取り止めた。男性には窃盗と麻薬の前歴がある。

●23日（金）午前8時20分頃、リュネル＝ヴィエル（エロー県）リベラシオン広場で、登校中の少年2名（10歳と11歳）が男3名に連れ去られそうになった。男らは白いライトバンに乗って少年らに近づき乗るように誘ったが、少年らが拒否したため、男1名が少年1名の腕を掴んだが、少年らが助けを求めて叫びながら暴れたため、男らは逃走した。

●25日（日）午前零時頃、マルセイユ（BdR県）コンソラ（15区）のシテにある食料品店で、男性2名（30歳と32歳）が何者かにカラシニコフ銃で撃たれた。男性1名（30歳）は死亡し、もう1人（32歳）は負傷したが、命に別状はない。警察は報復事件として捜査を開始した。

●26日（月）午前7時頃、マルセイユ（BdR県）マルセイエーズ広場（1区）にあるホテルで、男がハサミで受付係を脅し、現金600ユーロを奪った。

●27日（火）午後9時頃、ナルボンヌ（オード県）サン＝ジャン＝サン＝ピエールで、男性（26歳）が何者かに足を銃で撃たれて負傷した。

●30日（金）午前9時頃、コロミエ（オート＝ガロンヌ県）ブレイズ＝パスカル通りで、アゼルバイジャン人のジャーナリスト（40歳）と妻（39歳）が自宅前で何者かに拳銃で射殺された。現場には複数の薬莢が落ちていた。

3 薬物・銃器に関する事件

●2日（金）、マルセイユ（BdR県）オリビエ（13区）で、少年2名（17歳）が薬物密売の容疑で警察に逮捕された。少年らは大麻樹脂1kg及び大麻270g、コカイン70g、現金5,200ユーロを所持していた。

●4日（日）、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）イザール地区で、男（21歳）

が自動小銃を所持してオートバイに乗っていたところ、警察に逮捕された。男は酒に酔っており、大麻数グラムも所持していた。

●5日（月）午前、ラ・ペンヌ＝スール＝ユヴォーヌ（BdR 県）で、パトロール中の警察官が不審な駐車車両を発見したところ、突然、付近の車両2台が発進し、1名が車両を放棄して逃走した。同車両内から大麻樹脂 150kg が押収された。

●5日（月）、マリニャンヌ（BdR 県）にあるマルセイユ空港で、リオ・デ・ジャネイロからリスボン経由で到着した女（45 歳）がスーツケースの中にコカイン 2.8kg を所持していた容疑で税関に逮捕された。

●5日（月）頃、マルセイユ（BdR 県）グミエ通り（8 区）で、男2名（21 歳と 20 歳）が薬物密売容疑で警察に逮捕された。1名（21 歳）は経済学部の学生で、エクスタシー及び MDMA、コカイン、現金 5 千ユーロを所持していた。もう1名（20 歳）はケタミン及びコカイン、エクスタシーを所持し、運転免許の取得費用のために薬物を売っていたと供述した。

●6日（火）、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）レイヌリで、女が自宅アパートに猟銃1丁と短機関銃1丁、麻薬を所持していた容疑で逮捕された。

●7日（水）朝、マルセイユ（BdR 県）レ・カイヨル（12 区）で、憲兵隊が男を窃盗容疑で逮捕して男の自宅アパートを捜索したところ、大麻樹脂 180kg を発見、押収した。同容疑者はキャッシュカード窃盗を専門とする3人組（いずれもマルセイユ在住）の1人で、PACA 州及びオクシタニー州を除く仏全土で 103 枚のキャッシュカードを窃取し、同キャッシュカードで約 15 万ユーロ分を利用していた。

●8日（木）夜、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）イザールで、男2名（18 歳と 24 歳）が薬物密売の容疑で警察に逮捕された。男らはコカイン 16g 及び大麻樹脂 450g、MDMA 少量、エクスタシー少量を所持していた。

●9日（金）、コロミエ（オート＝ガロンヌ県）で、女が車両内に拳銃7丁及びサブマシンガン2丁、カラシニコフ銃1丁、ショットガン2丁を隠していた容疑で逮捕された。

●14日（水）夜、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ムエット通りで、男（24 歳）が薬物密売の容疑で警察に逮捕された。男は大麻 30 g と現金 300 ユーロ等を所持していた。男には薬物密売の前歴がある。

●17日（土）午後3時40分頃、フレジュス（ヴァール県）にある射撃場で、銃が暴発して男性（20 歳）が死亡し、別の男性（23 歳）が負傷した。

●19日（月）、マルセイユ港（BdR 県）に一時寄港した貨物船内からコカイン 448kg が押収された。機関士がエンジン冷却水のタンクに白い粉が浮いていることに気づき、タンク内を調べたところ、包装されたコカインが水の中に沈んでいる

のを発見した。同貨物船のマルセイユまでの寄港はペルー、パナマ、チリ、コロンビア及びイタリア。

●21日（水）午後1時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）バガテルにあるアパートで、警察が薬物の摘発を行い、大麻樹脂4kg、大麻1kg及びコカイン140gを押収した。

●23日（金）及び24日（土）、ニース＝コート・ダジュール空港（アルプ＝マリタイム県）で、旅行者2名（米国籍、英国籍）がヘロインを所持していた容疑で税関に逮捕された。米国籍の男はヘロイン約5.1kgを、英国籍の男はヘロイン約3.5kgを所持していた。両名ともドーハ（カタール）で飛行機に乗り、オランダに向かっていた。

●25日（日）午後6時50分頃、マルセイユ（BdR県）ミコクリエ（10区）で、男2名（18歳と26歳）が大麻450gを所持していた容疑で逮捕された。

●25日（日）、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）で、オートバイに乗っていた少年（17歳）が拳銃を所持していた容疑で警察に逮捕された。拳銃には弾が装填されていた。

●28日（水）、ニース（アルプ＝マリタイム県）ラリアーヌにあるモーリス＝ジョベール中学校で、男子生徒が授業中に拳銃様の物を見せびらかしたため、逮捕された。

●29日（木）午後、マルセイユ（BdR県）ミラドウ通り（2区）路上で、男性（70代）が猟銃で頭部を撃って自殺した。

4 交通事故等

●6日（火）午前11時40分頃、カップ＝ダイユ（アルプ＝マリタイム県）トロワ＝セプタンブル通りで、自転車に乗っていた男性（61歳）が車両と接触して転倒し、頭部をバスに轢かれて死亡した。

●10日（土）午後、エクス＝アン＝プロヴァンス（BdR県）の高速道路インターチェンジ（A8とA51）付近で、男性運転手（80代）が落下した積み荷を拾うため、車両を止めて車外に出たところ、後続車両に轢かれて死亡した。

●12日（月）午後10時頃、トゥルヌフィユ（オート＝ガロンヌ県）のバイパスで、男性（36歳）が歩行者（44歳）を車で撥ね、歩行者は死亡した。

●13日（火）午前9時頃、マルセイユ（BdR県）モレル通り（13区）で、車両同士の衝突事故が発生し、幼児（4歳）が路上に放り出されたが、奇跡的に軽い打撲傷だけで済んだ。

●17日（土）午後、ラ・トリニテ（アルプ＝マリタイム県）ラ・シェンヌ＝ヴェールで、オートバイがUターンをしていた車両に衝突し、オートバイの運転手（65歳、男性）が死亡した。

- 19日（月）午前8時55分頃、アンティーブ（アルプ＝マリタイム県）サン＝クロード通りで、オートバイと車が衝突し、オートバイの運転手（64歳、男性）が死亡した。車の運転手は逮捕された。
- 25日（日）午前6時20分頃、ギャップ（オート＝ザルプ県）で、3名乗車の車両が小型トラックに衝突し、小型トラックに乗っていた少年（15歳）が重傷を負い、昏睡状態となった。車両は事故の後、逃走を試みたが、電柱に衝突して停止した。車両の運転手は逮捕された。運転手は同乗者2名とディスコから帰宅途中で、酒に酔っていた。
- 26日（月）午後、マルセイユ（BdR 県）アランの幹線道路（A55）で、オートバイとトラックが衝突し、オートバイの運転手（30歳）が死亡した。

5 その他の事件

- 1日（木）朝、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）サン＝ジョルジュにあるホテル「メルキュール」地下駐車場で、男性が手足を縛られ、猿ぐつわをはめられた状態で発見された。男性は病院に搬送されたが、命に別状はない。
- 1日（木）午後3時45分頃、マルセイユ（BdR 県）ロング・デ・カプサン通り（1区）のアパートで、ボイラーの不完全燃焼が発生し、6名が一酸化炭素中毒になった。内女性1名（74歳）が意識不明の重体。
- 2日（金）午後3時頃、マルセイユ（BdR 県）シテ・ローリエ内のマラトン通り（13区）にある建物の9階で火災が発生し、住民7名が救助された。
- 4日（日）、マルセイユ（BdR 県）ラバト通りとプロンビエール通りで、サッカーの試合（オリンピック・マルセイユナント戦）前にナントから来たバスに対するマルセイユのファンによる待ち伏せや投石が行われ、バスの窓が割れる等した。男2名（23歳と25歳）が逮捕された。
- 5日（月）朝、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）オンフルール通りで、クロアチア人の男2名（21歳と37歳）が一軒家に侵入するため窓を割ったところ、警察に発見されて逮捕された。
- 5日（月）午後3時頃、マルセイユ（BdR 県）ポルト＝デクス（3区）付近で、男（28歳）が上半身裸で刃物（長さ20cm）を所持してバスに乗車したところ、警察官に逮捕された。男はタバコの密売人として知られており、密売の競争相手を襲うために刃物を所持していた。
- 5日（月）から6日（火）の夜間、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ユクレヌ通りで、男3名（17歳及び18歳、37歳）が空き巣の容疑で警察に現行犯逮捕された。男2名はドライバー様の工具でシャッターを破壊して侵入し、他1名は見張り役だった。
- 6日（火）午前10時頃、トゥーロン（ヴァール県）シャン・ド・マルスで、

イタリアから家具を運搬してきたトラック運転手が積み荷を確認するため、荷台のドアを開けたところ、難民9名（スーダン国籍：4人，エリトリア国籍：3名，チャド国籍：1名，エチオピア国籍：1名）が乗っていたため、同9名を警察に引き渡した。

●7日（水）午後5時30分頃，マルセイユ（BdR 県）ラ・カステランヌ（16 区）のシテで，パトロール中の警察官がナンバーのないスクーターに乗っている若者2名を発見し，停止させたところ，付近住民約40名に取り囲まれ投石された。警察官は群衆を鎮めるために威嚇射撃を行った。警察官2名が膝を負傷し，10代の住民1名が膝に軽傷を負った。

●7日（水）から8日（木）にかけて，トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ムエツ通りで，酔っ払った男（19 歳）がバタフライナイフを所持していた容疑で逮捕された。

●8日（木）から9日（金）にかけて，マルセイユ（BdR 県）トゥーロン通り（10 区）で，犯人数名がタバコ屋に侵入し，タバコとスクラッチゲームを窃取した。

●8日（木）から9日（金）にかけて，キュノー（オート＝ガロンヌ県）ロス通りで，車両1台が燃やされる放火事件が発生した。4日から5日にかけて，同地区で車両3台が燃やされる放火事件が発生していた。

●9日（金）朝，マルセイユ（BdR 県）ダンケルク通り（2 区）にある銀行「ソシエテ・ジェネラル」で，男が突然刃物を取り出したため，警察に逮捕された。

●10日（土），マルセイユ（BdR 県）レ・ザルナヴォー（14 区）にあるバーで，少年2名（14 歳と15 歳）が喧嘩になり，互いに刃物で切り合い，15 歳の少年は顔面を，14 歳の少年は背中を負傷して病院に搬送された。2名の命に別状はない。

●10日（土）午後6時30分頃，マルセイユ（BdR 県）地下鉄サン＝シャルル駅（1 区）で，男性（80 代）が線路に転落したが，電車は手前で停止した。

●10日（土），マルセイユ（BdR 県）ジュール＝ゲード広場（3 区）付近の郵便局で，男（18 歳）がキャッシュカードを盗み，被害者の叫び声に気付いた警察官により逮捕された。

●11日（日）午前4時頃，マルセイユ（BdR 県）サント通り（1 区）にあるクレープ屋で，爆発が発生して炎が上がった。同店の共同経営者1名が重傷を負った。別の共同経営者1名が突然姿を消した。

●12日（月）午前8時30分頃，プラン＝ド＝サント＝ボーム（ヴァール県）の山で，ハイキングをしていて崖から転落して負傷した女性（50 代）がヘリコプターで救助され，マルセイユ北病院に搬送された。11 日午後から同女性の捜索が行われていた。

●13日（火）午後8時頃，トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）スポール通り

で、男が女性からiPhoneを盗み、駆けつけた警察官に逮捕された。女性はiPhoneの個人売買のため、インターネットを通じて購入者の男性と同所で会っていたところ、突然別の男が現れ犯行に及んだ。

●16日（金）、セヌ＝サン・ドニ県及びオワーズ県に居住するセルビア出身家族が、少女ら（12～16歳）を使って南仏（ガール県、エロー県、BdR県）で盗みを働いていたことが各地憲兵隊の連携捜査により認知、検挙された（現金1.5万ユーロ、金2kgの貴金属及び盗難品430点を押収）。6ヶ月間に1,500件に上る窃盗があったとみられている。少女らは4万乃至8万ユーロで小集団に売り渡され、毎日街の入り口や住宅街まで車で運ばれては盗みを働かされており、首領が2週間毎に盗品回収をしていた。去る1月に続く2度目の検挙（前回は金4kgを押収）。

●16日（金）午後5時頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）ジャン＝クリュピ通り（ミライユ付近）にある資材置き場で火災が発生し、新品のプラスチック製チューブ十数本が燃えた。出火原因は捜査中。

●18日（日）午前零時頃、モンペリエ（エロー県）ラ・パイヤド路上で、置かれていたゴミが燃えて、薬局や病院の壁が焼損した。出火原因は捜査中。

●19日（月）午後3時頃、ニース（アルプ＝マリタイム県）マレシャル＝ベルナドット通りで、毒殺された猫15匹が発見された。ニース市は毒殺された猫の解剖と同地区の清掃を実施予定。

●21日（水）午後10時35分頃、トゥールーズ（オート＝ガロンヌ県）レイヌリで、男3名（19歳～23歳）が車両に対する放火容疑でパトロール中の警察官に逮捕された。男らは釘抜きとガソリン入りのブリキ缶を所持していた。

●24日（土）午前零時過ぎ、モンペリエ（エロー県）にあるモンペリエ大学で、校則改正に反対する学生約50名が法学部の講堂を占拠していたところ、覆面をした約10名が棒やテーザー銃（拳銃式のスタンガン）を所持して講堂に押し入り、学生を強制退去させ、学生数名を負傷させた。

●24日（土）午前零時頃、ラ・シオタ（BdR県）で、何かがバーの窓ガラスを破壊して店内に侵入し、金庫内から現金約4千ユーロを窃取した。

●24日（土）午後8時30分頃、マルセイユ（BdR県）ル・カネ（14区）にある家電製品販売店で火災が発生し、全焼した。付近住民28名が避難した。

●25日（日）、マルセイユ（BdR県）リウ島で、男性（63歳）が潜水中に体調が悪くなり、死亡した。

●25日（日）午前10時頃、マルセイユ（BdR県）ルビエール通り（5区）にあるアパートで火災が発生した。人的被害はなかった。

●26日（月）午後7時頃、モンペリエ（エロー県）リシュリュ通りで、少女2名が歩いていたところ、酔っ払った男2名（21歳と25歳）に手を蹴られる等

の暴行を受け、性的暴行を加える旨の脅迫を受けた。男らはパトロール中の警察官に逮捕された。

●26日（月）午後7時30分頃、ニース（アルプ＝マリタイム県）ラリアーヌで、火災の通報を受けた消防が現場に到着したところ、約10名のグループから投石を受けたが、人的被害はなかった。火災は発生していなかった。前日、同市アンパッサ・デ・リズロンで同様の事案が発生している。

●30日（金）午前8時頃、マルセイユ（BdR県）ジュール＝ゲード広場（3区）付近の7階建てアパートで、ガスの不完全燃焼により一酸化炭素が発生し、住民7名（大人4名と子供3名）が消防に救助された。救助された住民7名は軽度の一酸化炭素中毒で病院に搬送された。

●31日（土）午前2時30分頃、マルセイユ（BdR県）ロジェ＝サラングロ通り（15区）にある商店で火災が発生したが、人的被害はなかった。情報筋によると、放火事件として司法警察が捜査を開始した。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。